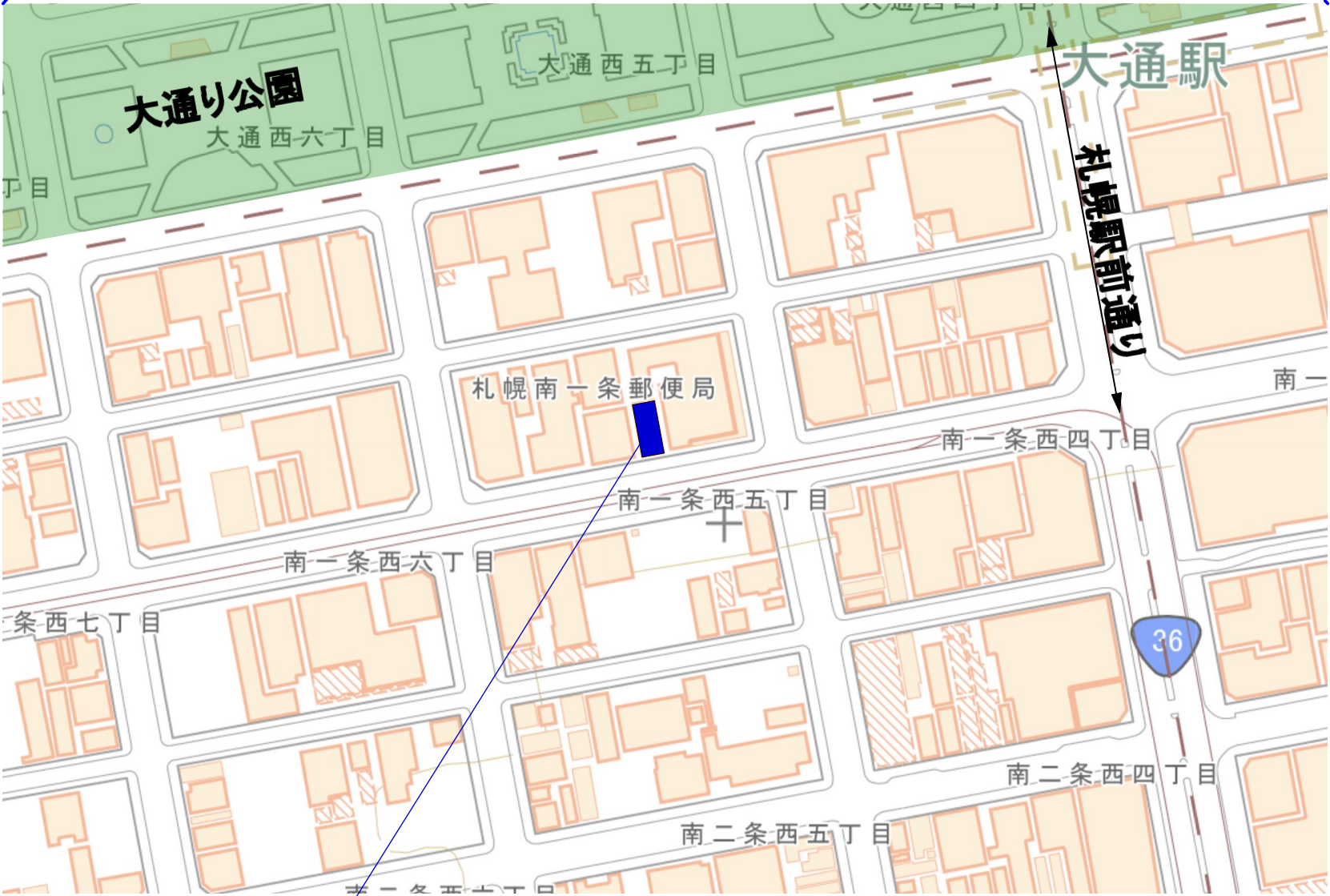
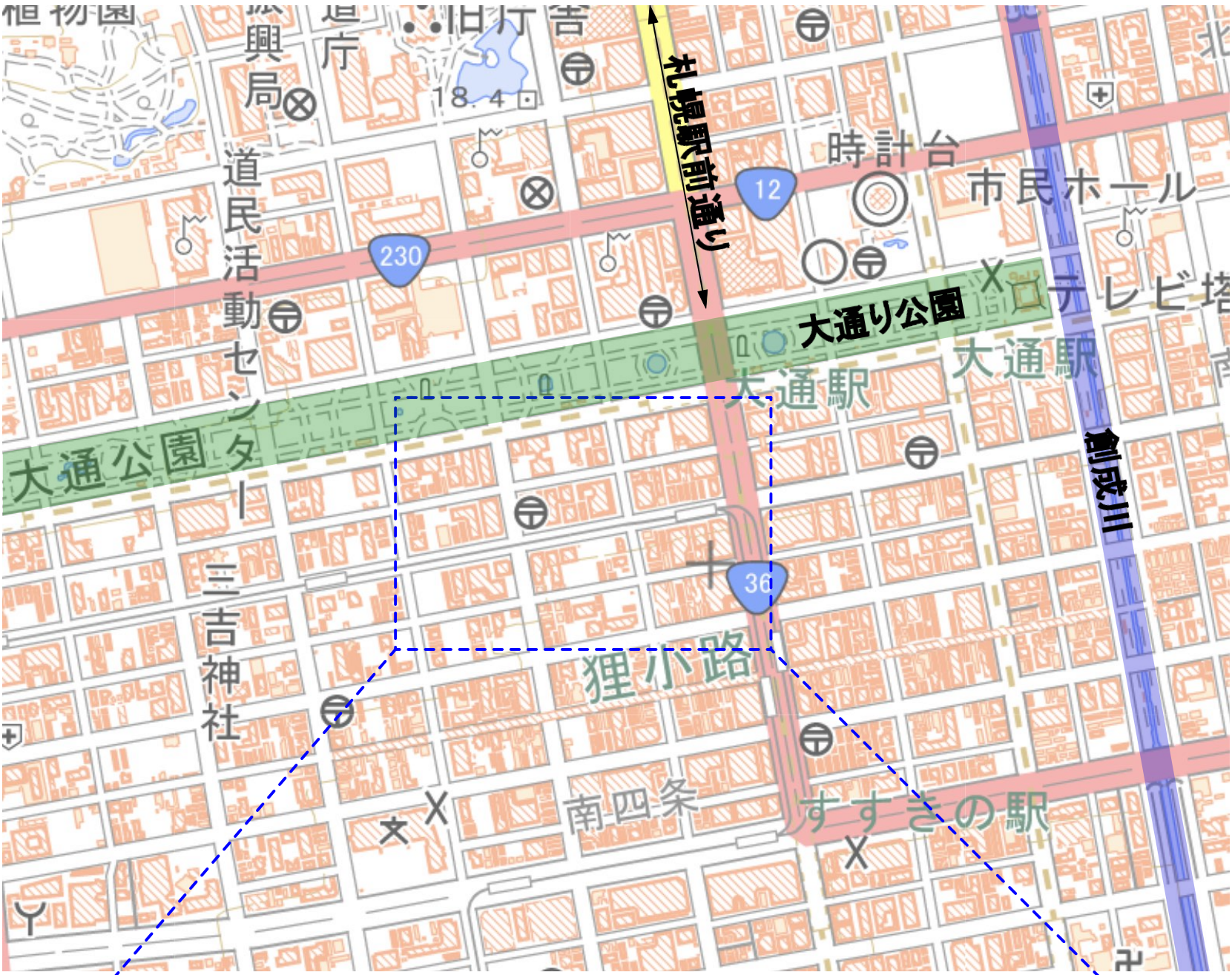
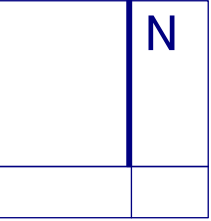
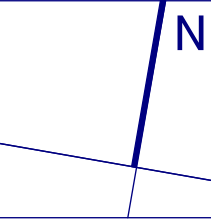


付近見取図:No Scale



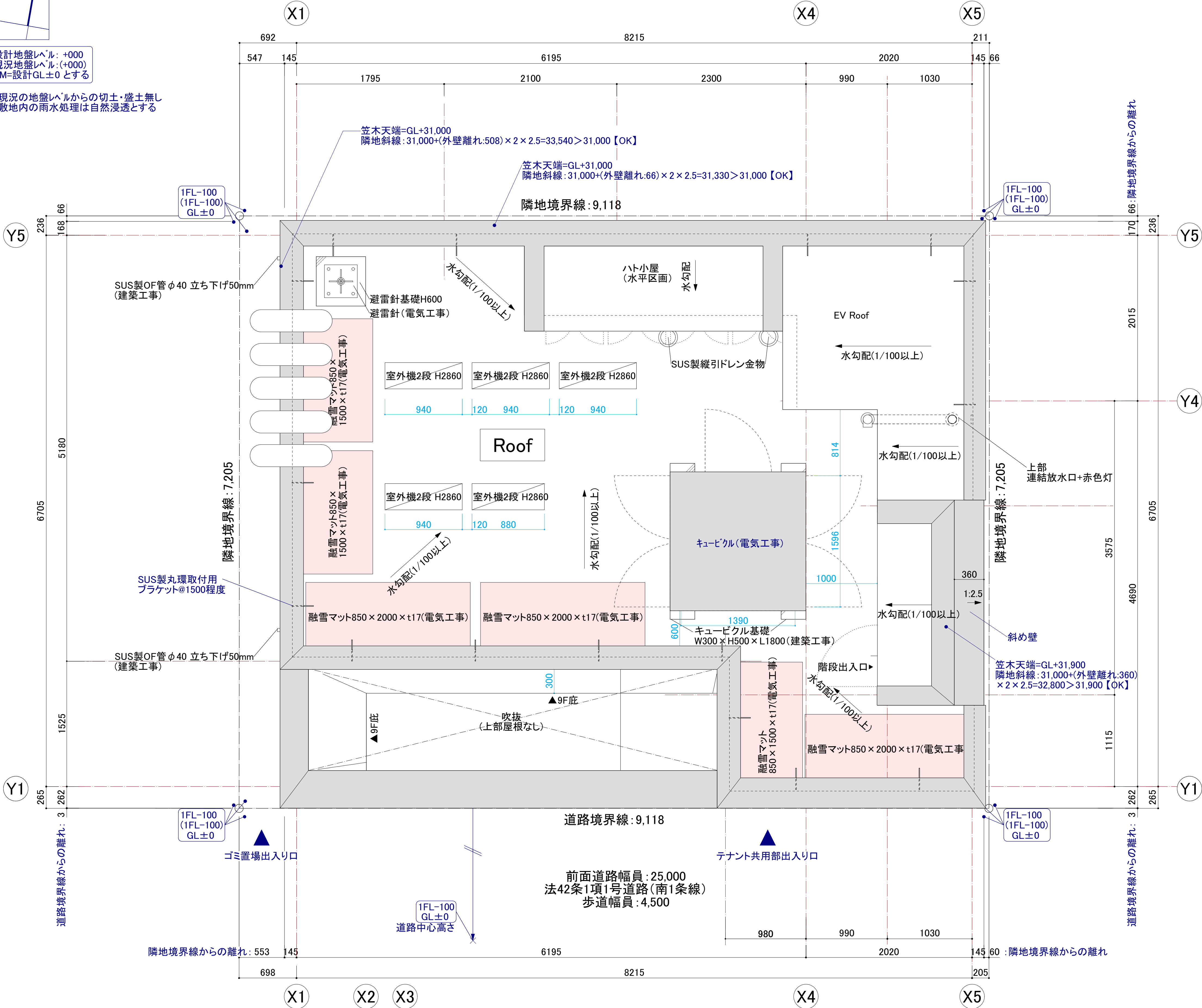
敷地:北海道札幌市中央区南1条西5丁目12-2B

配置図(兼屋根伏図):1/50(A3)



設計地盤レベル: +000
現況地盤レベル:(+000)
BM=設計GL±0とする

・現況の地盤レベルからの切土・盛土無し
・敷地内の雨水処理は自然浸透とする



敷地面積	地積測量図参照	65.70 m ²	19.87 坪
建築面積	8.215 × 6.705	55.08 m ²	16.66 坪
建ぺい率	55.08 / 65.70 × 100	83.84 %	<100% ∴OK (防火地域内の 耐火建築物)
延床面積	A + B + (C×7) + D + E	520.21 m ²	157.36 坪
容積率対象延床面積	a ~ e の合計	479.51 m ²	145.05 坪
容積率	479.51 / 65.70 × 100	729.85 %	<800% ∴OK

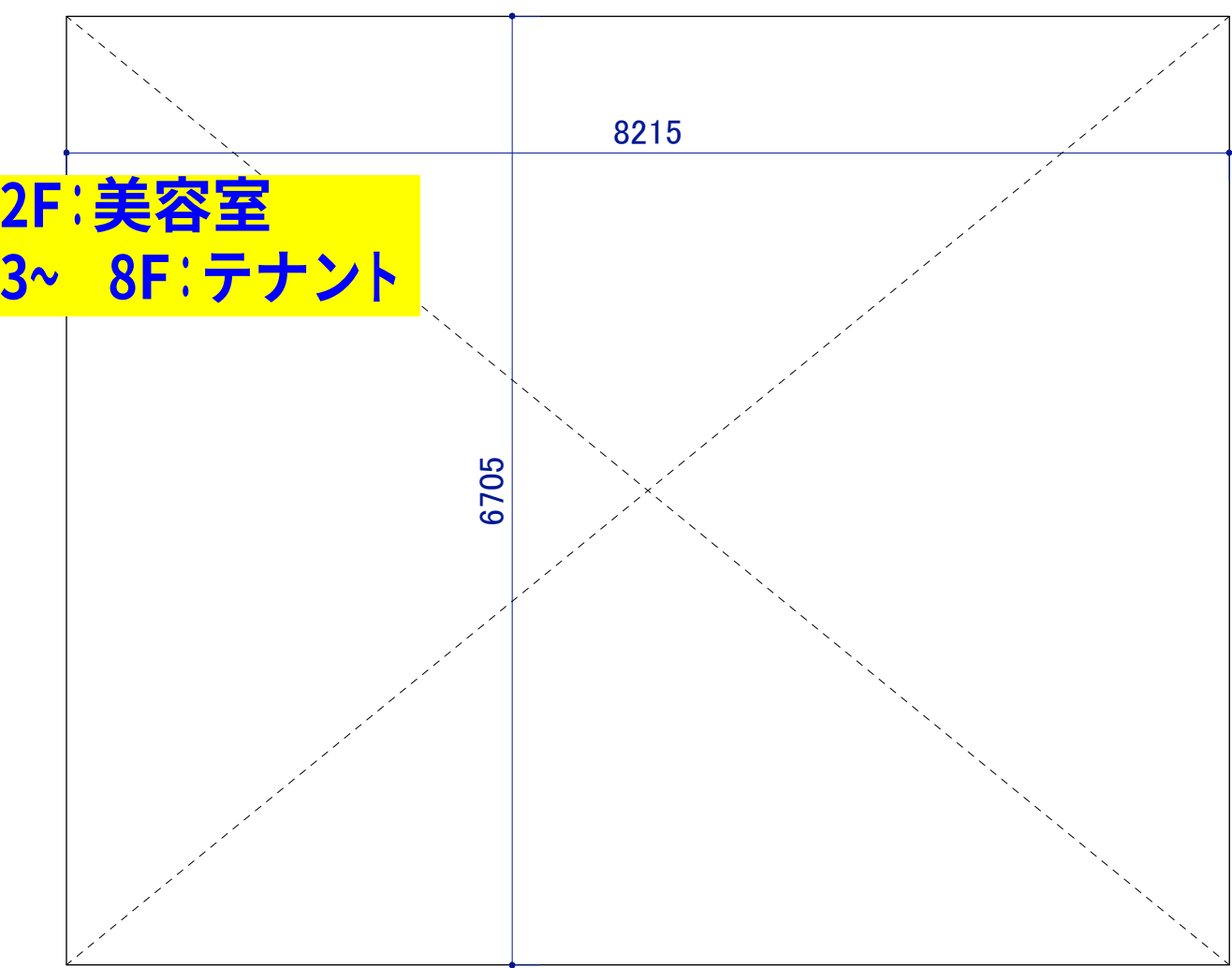
-美容室(1F～3F)	(1-1)×(1-2)×(2-1)×(2-2)*2	110.07 m ²	33.30 坪
-事務所(9F)	(9-1)～(9-5)	33.65 m ²	10.18 坪
-テナント(B1F、4F～8F)	(B1-2)×(B1-3)×(2-1)×(2-2)*5	232.52 m ²	70.34 坪
-EVシャフト	(B1-EV)*10	40.70 m ²	12.31 坪
-その他	上記以外	103.27 m ²	31.24 坪

階	室名	記号	計算式(m)	面積(m ²)
B1F	機械室	B1-1	1.610 × 2.275	3.663
			1.140 × 0.615	0.701
	テナント	B1-2	1.657 × 2.890	4.789
			3.735 × 2.890	10.794
			3.218 × 2.127	6.845
				22.428 → 22.42
	PSEPS	B1-3	3.218 × 0.763	2.455 → 2.45
	階段及び階段ホール	B1-4	2.020 × 3.765	7.605 → 7.60
	EVシャフト	B1-EV	2.020 × 2.015	4.070 → 4.07
	B1F床面積			40.90 -A
	B1F容積対象延床面積			36.83 -a
1F	美容室	1-1	0.470 × 3.200	1.504
			3.295 × 5.942	19.579
			1.580 × 1.402	2.215
			1.657 × 0.763	1.264
	PSEPS	1-2	3.218 × 0.763	2.455 → 2.45
	共用エントランス	1-3	1.580 × 3.425	5.412
	階段及び階段ホール	1-4	2.020 × 4.690	9.474
	エレベーター	1-5	0.850 × 3.200	2.720
	EVシャフト	1-EV	2.020 × 2.015	4.070 → 4.07
	1F床面積			44.61 -B
2F～8F	2F～3F:美容室 4F～8F:テナント	2-1	6.195 × 5.975	37.015
			2.965 × 0.730	2.164
	PSEPS	2-2	3.230 × 0.730	2.358 → 2.35
	階段及び階段ホール	2-3	2.020 × 4.690	9.474 → 9.47
	EVシャフト	2-EV	2.020 × 2.015	4.070 → 4.07
	各階床面積			55.07 -C
	各階容積対象延床面積			51.00 -c
	事務所	9-1	2.985 × 5.180	15.462 → 15.46
			1.445 × 3.345	4.834
			1.800 × 1.970	3.546
		9-2	(2.265+2.185)×0.210/2	0.467
			1.060 × 0.615	0.652
			(1.060+0.635)×1.115/2	0.945
	通路	9-3	2.350 × 0.863	2.028
			0.902 × 1.380	1.245
			0.898 × 0.910	0.817
9F	WC	9-4	0.898 × 1.328	1.193 → 1.19
			3.245 × 0.762	2.473 → 2.47
			2.020 × 2.960	5.979
	PSEPS	9-5	(2.020+1.780)×0.615/2	1.169
	階段及び階段ホール	9-6	1.780 × 1.115	1.985
				9.132 → 9.13
	EVシャフト	9-EV	2.020 × 2.015	4.070 → 4.07
	9F床面積			46.85 -D
	9F容積対象延床面積			42.78 -d
	階段及び階段ホール	R-1	1.030 × 2.300	2.369 → 2.36
RF	RF床面積			2.36 -E
	RF容積対象延床面積			2.36 -e

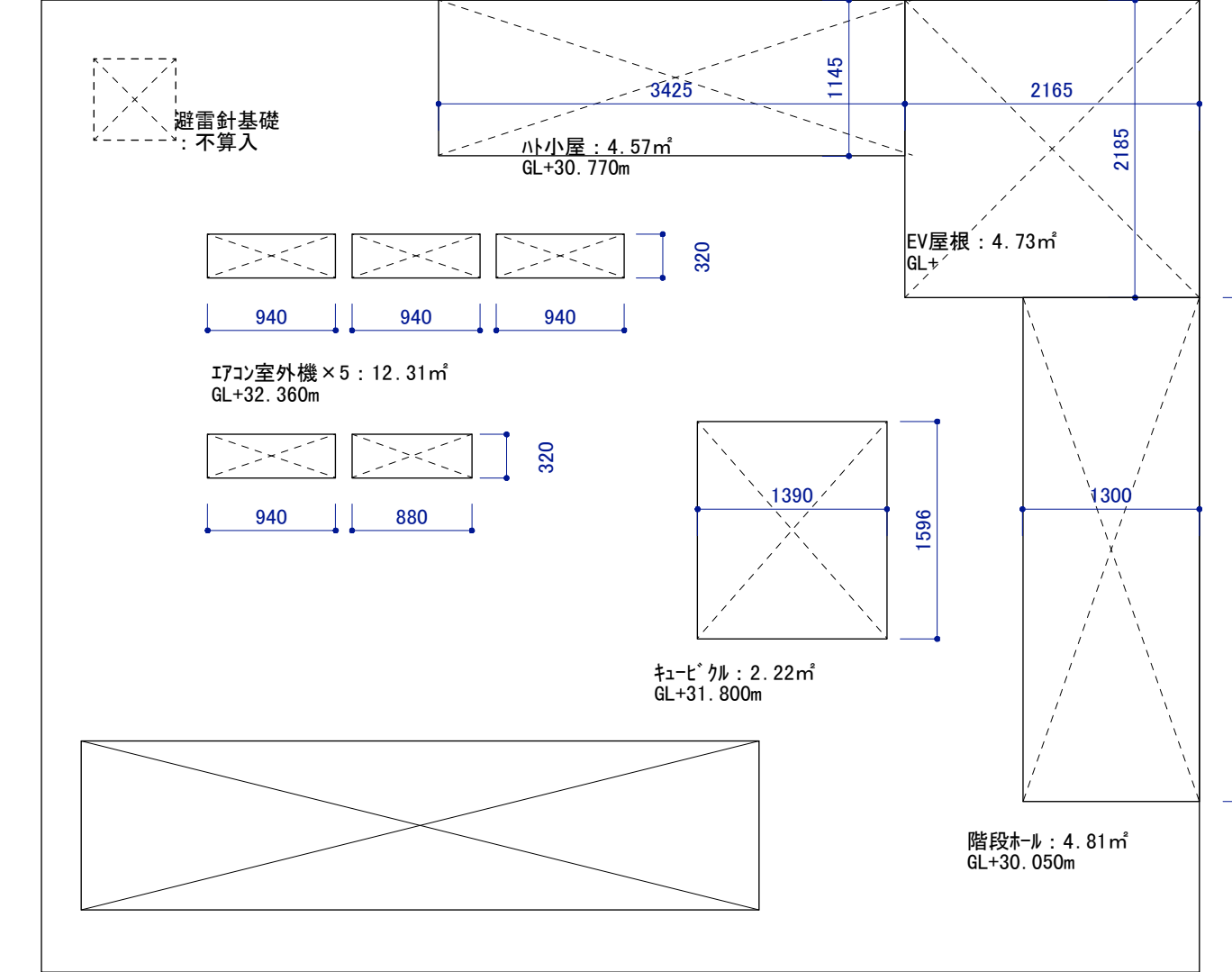
▼採光計算 -用途が美容室・事務所・飲食店のため採光計算不要 -階数3以上で延べ面積500㎡を超えるため非常用照明を設置			
▼換気計算 -機械換気設備で開口免除			
▼排煙計算 -排煙開口及び設備設置免除 ・1F～9Fの非居室:建築基準法告示第1436号-4-二(1) ・1F～9Fの居室:建築基準法告示第1436号-4-二(3)			
B1Fテナント+PSEPSの床面積	24.87 m ²		
必要排煙面積(床面積/50)	24.87 / 50 = 0.497 m ²		
有効排煙面積	0.750 × 0.691 = 0.518 m ²	>0.497(AW-BF-1)	∴OK
B1F機械室の床面積	4.36 m ²		
必要排煙面積(床面積/50)	4.36 / 50 = 0.087 m ²	(BF-AW-2)	
有効排煙面積	0.300 × 0.691 = 0.207 m ²	>0.087(AW-BF-2)	∴OK
必要からぼりサイズ:	0.518 × 0.207 = 0.107 × 2 = 1.451		
からぼりサイズ:	0.522 × 3.185 = 1.663 m ²		∴OK

▼建築物の高さの参入/不算入(下記図面参照)			
建築面積	55.08 m ²		
建築面積の1/8	55.08 / 8 = 6.885 m ²		
屋上点検階段の屋根、室外機等の面積	階段屋根(1.030×2.300) + キュービクル(1.650×1.690) + 室外機(0.94×0.32)×5 = 6.662		
∴(1/8ベント天端(GL+31.000m)が建物高さとなる			
▼消防無窓判定計算			
1F床面積	44.61 m ²		
必要開口面積(床面積/30)	44.61 / 30 = 1.487 m ²		
有効開口面積(建具表参照)	9.908	> 1.487	∴OK
2F床面積	55.07 m ²		
必要開口面積(床面積/30)	55.07 / 30 = 1.836 m ²		
有効開口面積(建具表参照)	13.011	> 1.836	∴OK
3F床面積	55.07 m ²		
必要開口面積(床面積/30)	55.07 / 30 = 1.836 m ²		
有効開口面積(建具表参照)	12.846	> 1.836	∴OK
4F床面積	55.07 m ²		
必要開口面積(床面積/30)	55.07 / 30 = 1.836 m ²		
有効開口面積(建具表参照)	13.176	> 1.836	∴OK
5F床面積	55.07 m ²		
必要開口面積(床面積/30)	55.07 / 30 = 1.836 m ²		
有効開口面積(建具表参照)	12.846	> 1.836	∴OK
6F床面積	55.07 m ²		
必要開口面積(床面積/30)	55.07 / 30 = 1.836 m ²		
有効開口面積(建具表参照)	13.176	> 1.836	∴OK
7F床面積	55.07 m ²		
必要開口面積(床面積/30)	55.07 / 30 = 1.836 m ²		
有効開口面積(建具表参照)	12.861	> 1.836	∴OK
8F床面積	55.07 m ²		
必要開口面積(床面積/30)	55.07 / 30 = 1.836 m ²		
有効開口面積(建具表参照)	13.176	> 1.836	∴OK
9F床面積	46.85 m ²		
必要開口面積(床面積/30)	46.85 / 30 = 1.562 m ²		
有効開口面積(建具表参照)	6.056	> 1.562	∴OK

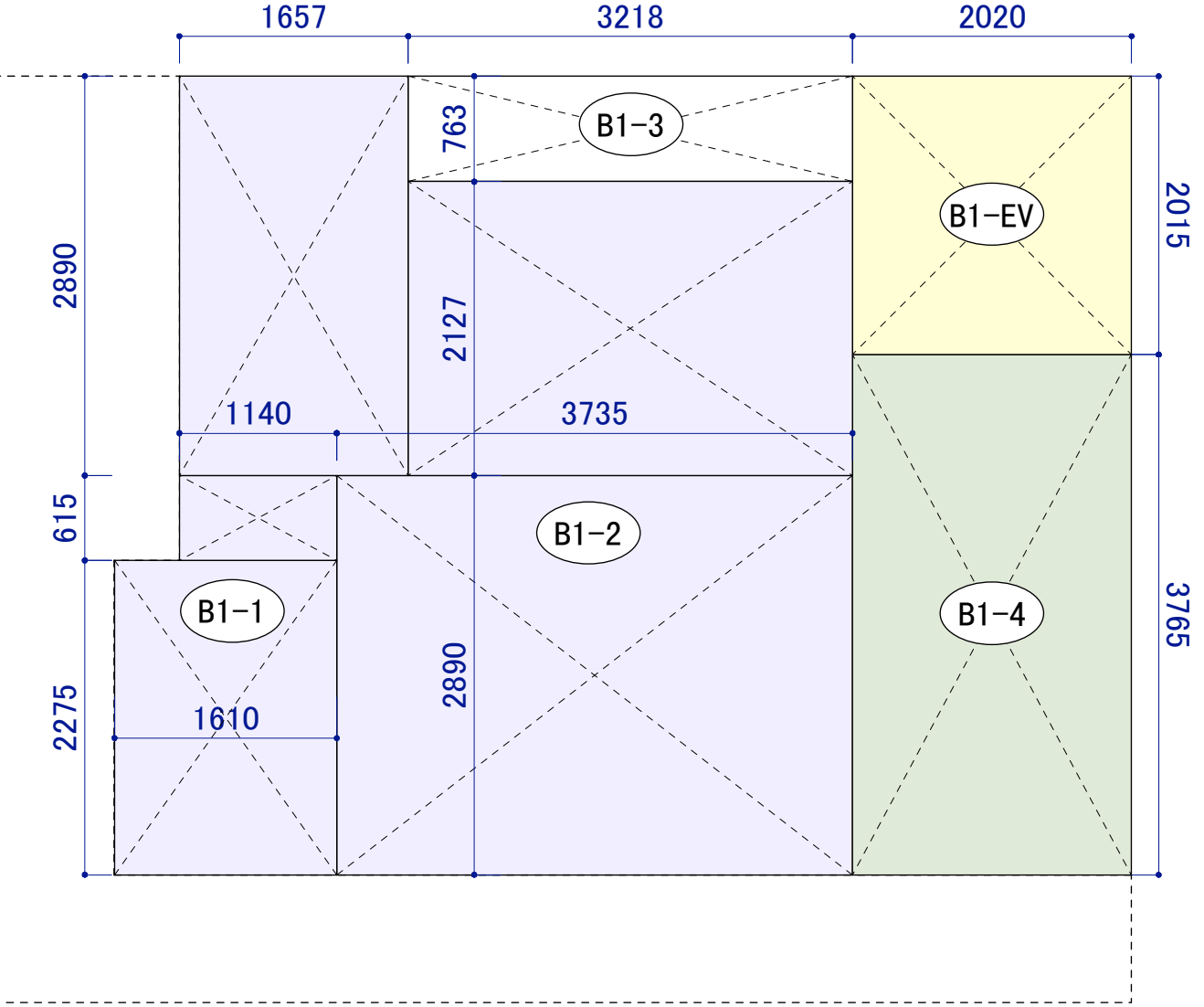
▼建築面積



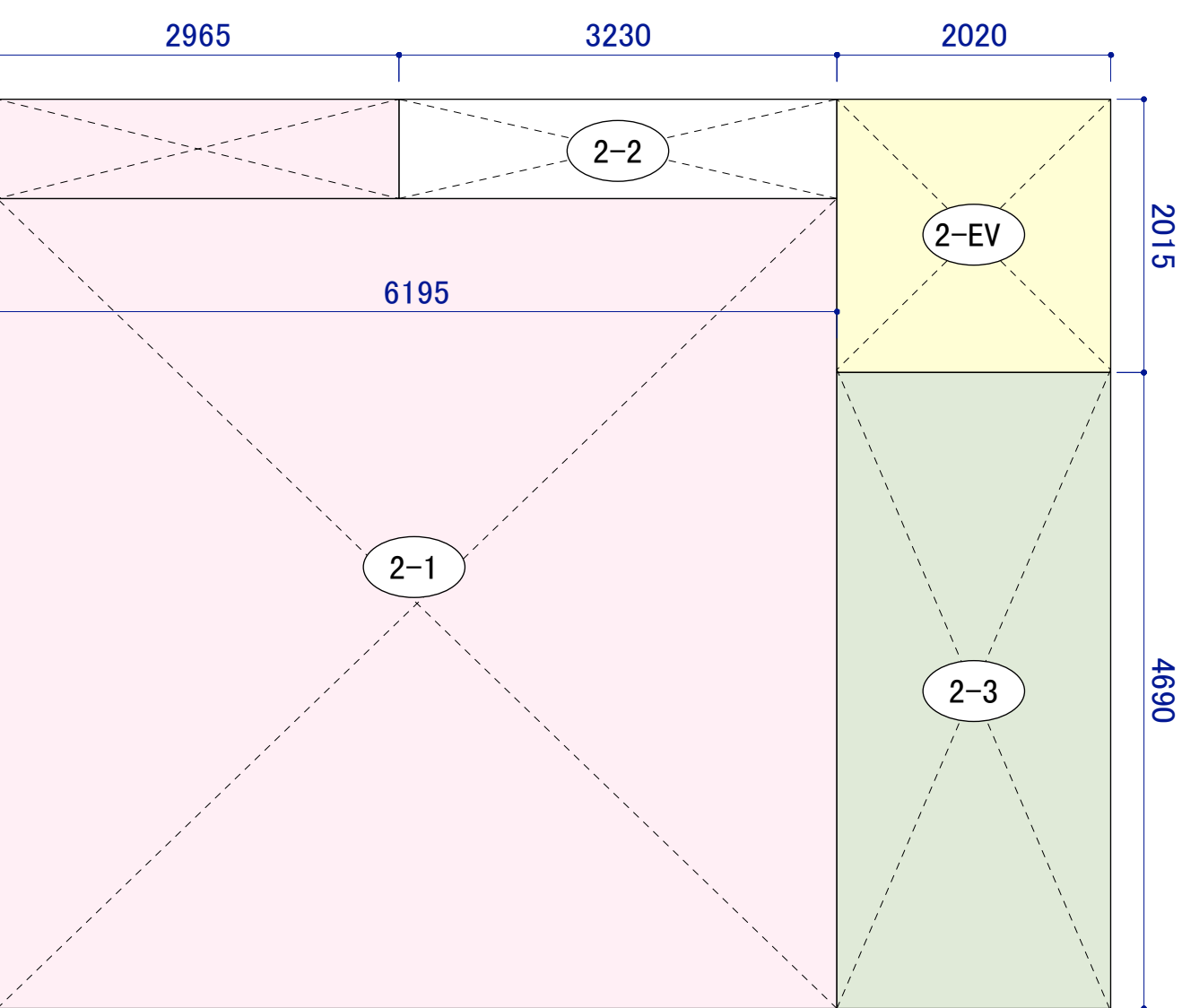
▼建築物の高さの算入/不算入



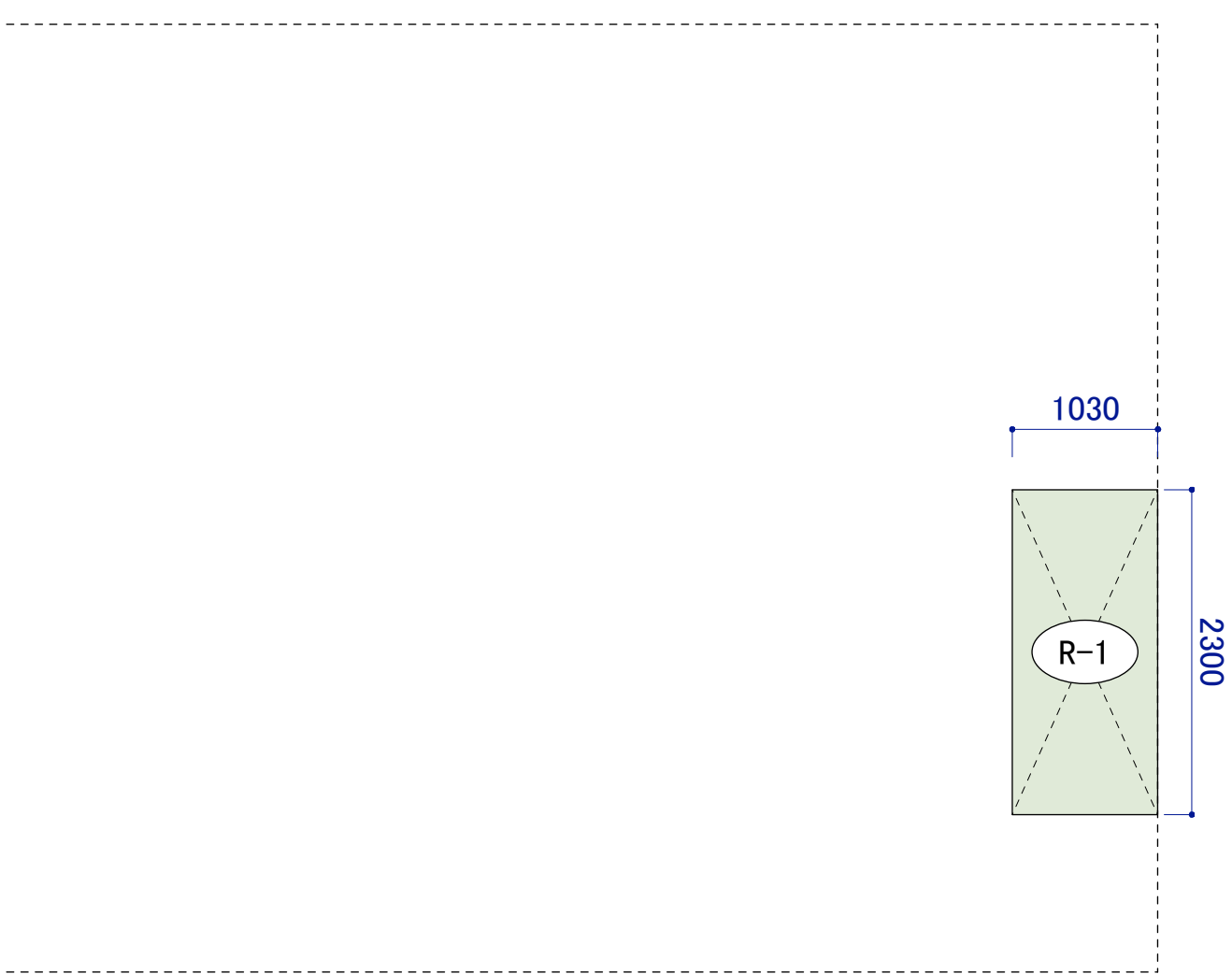
▼B1F



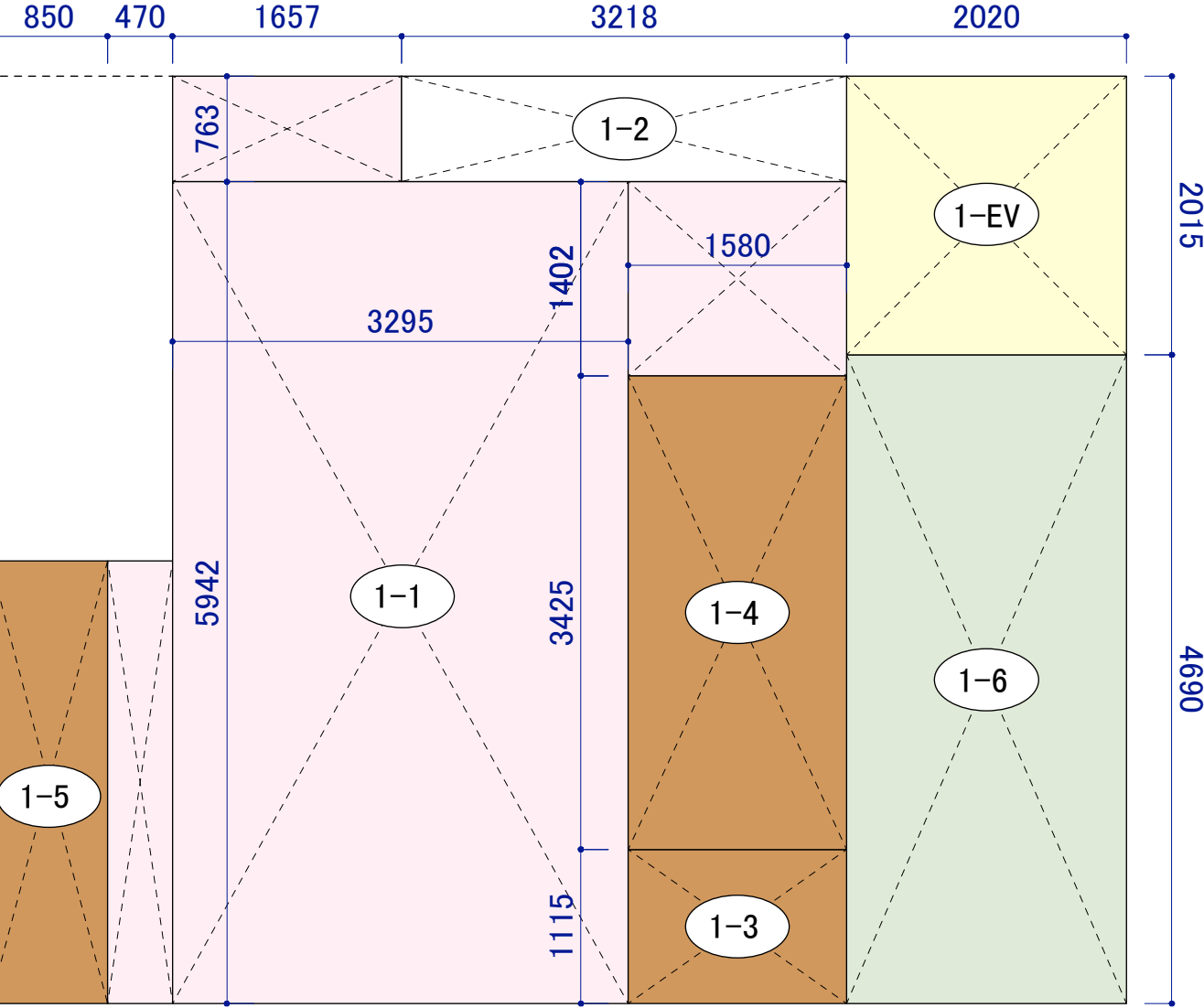
▼2F～8F



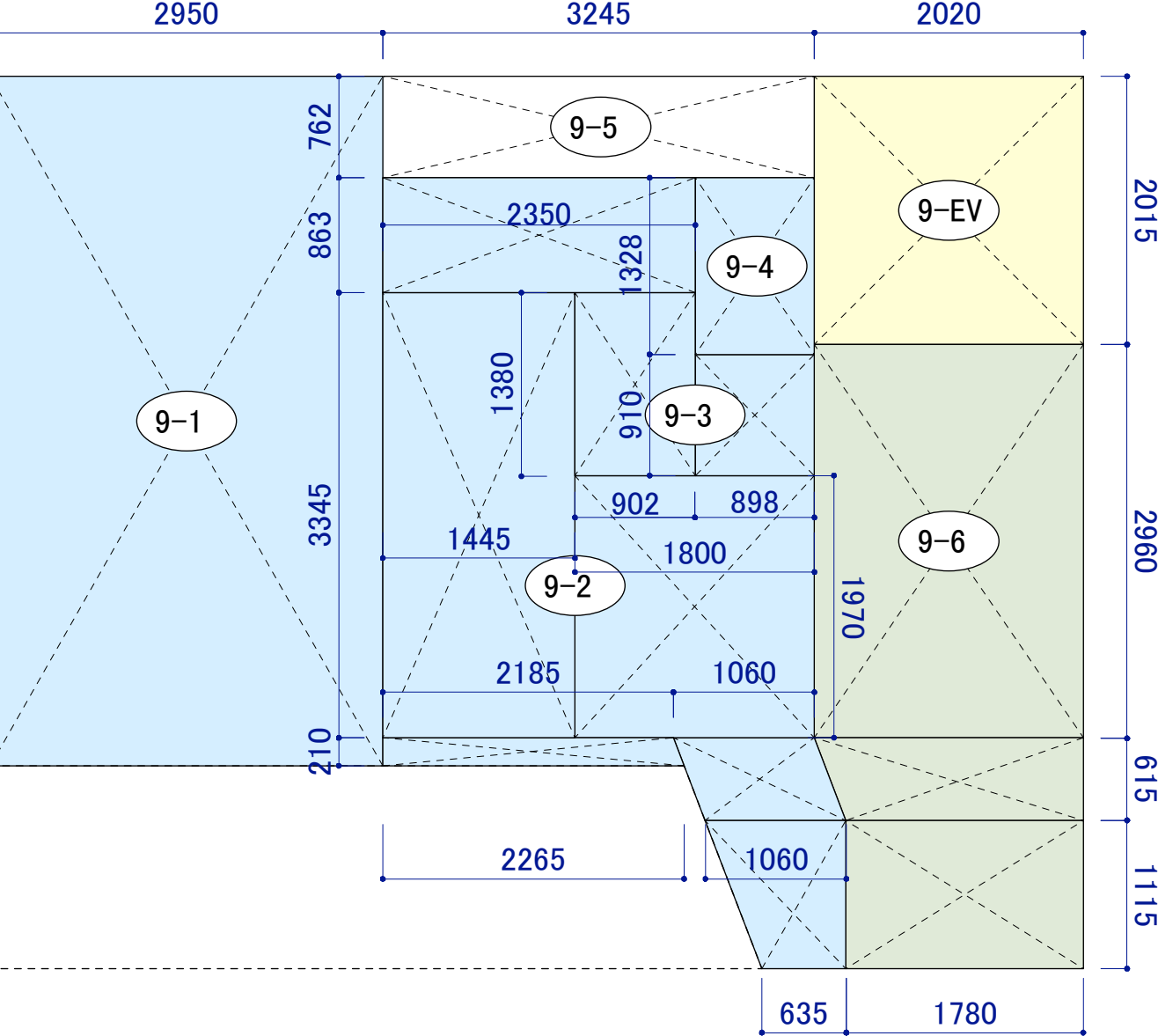
▼RF

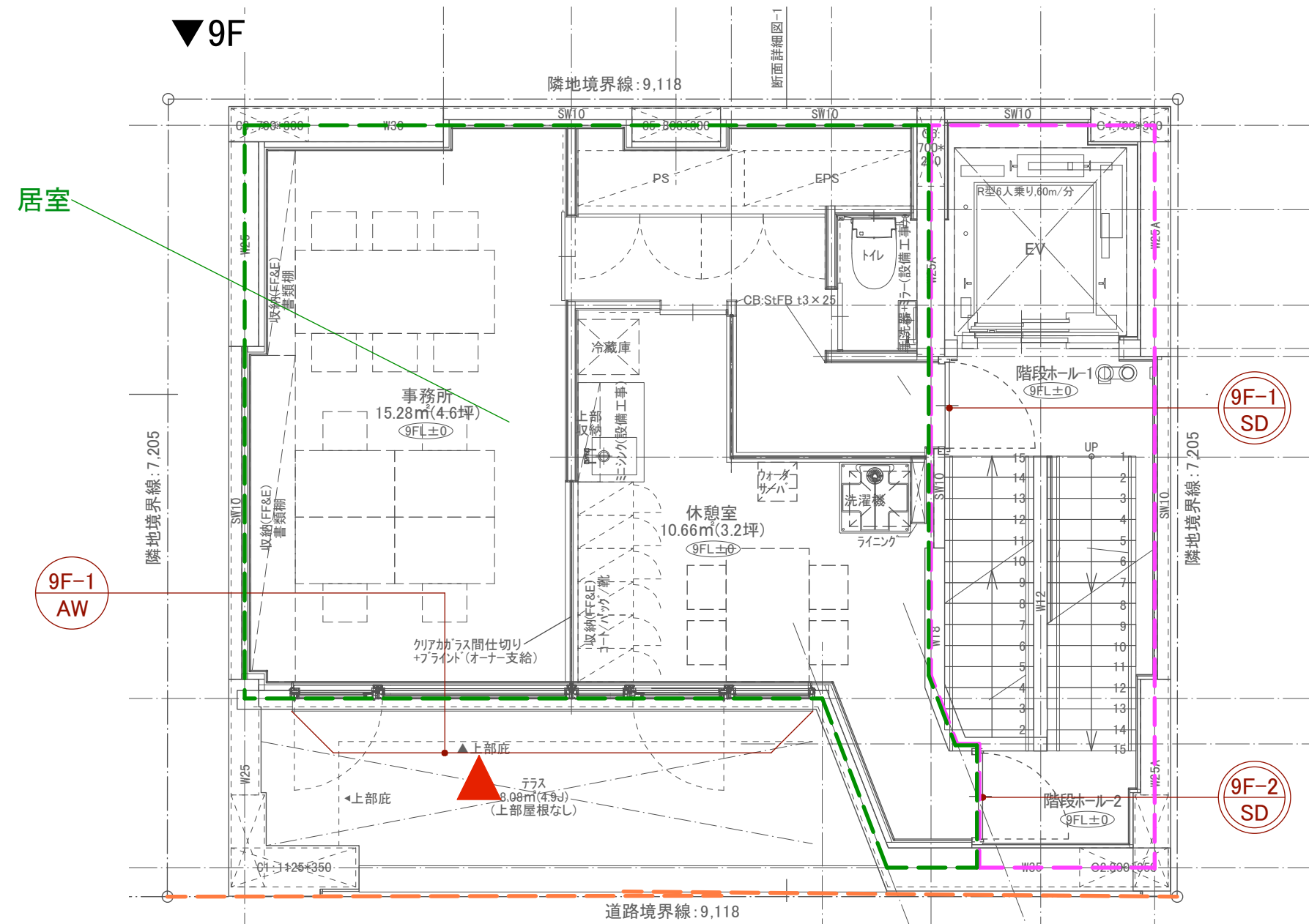
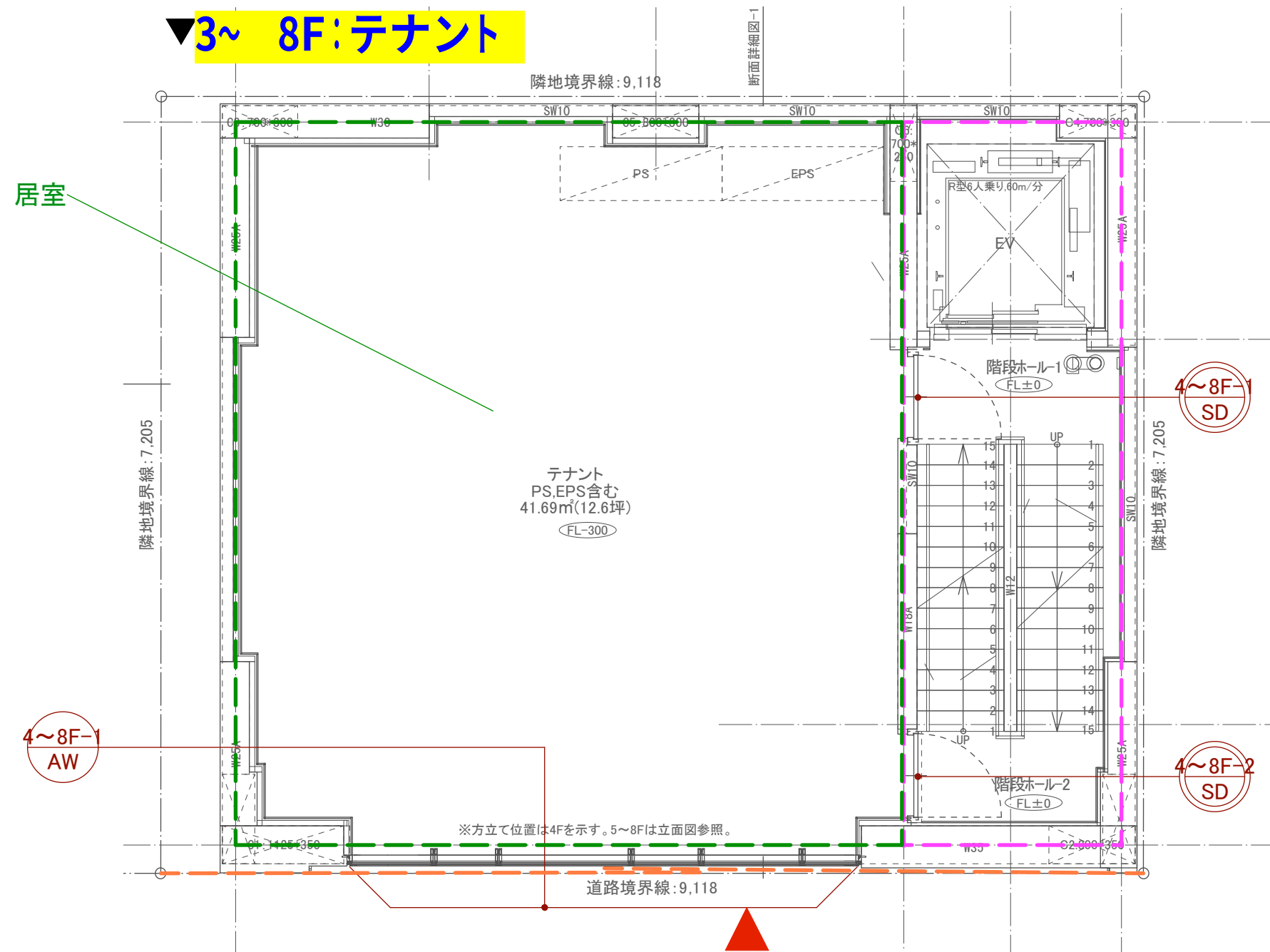
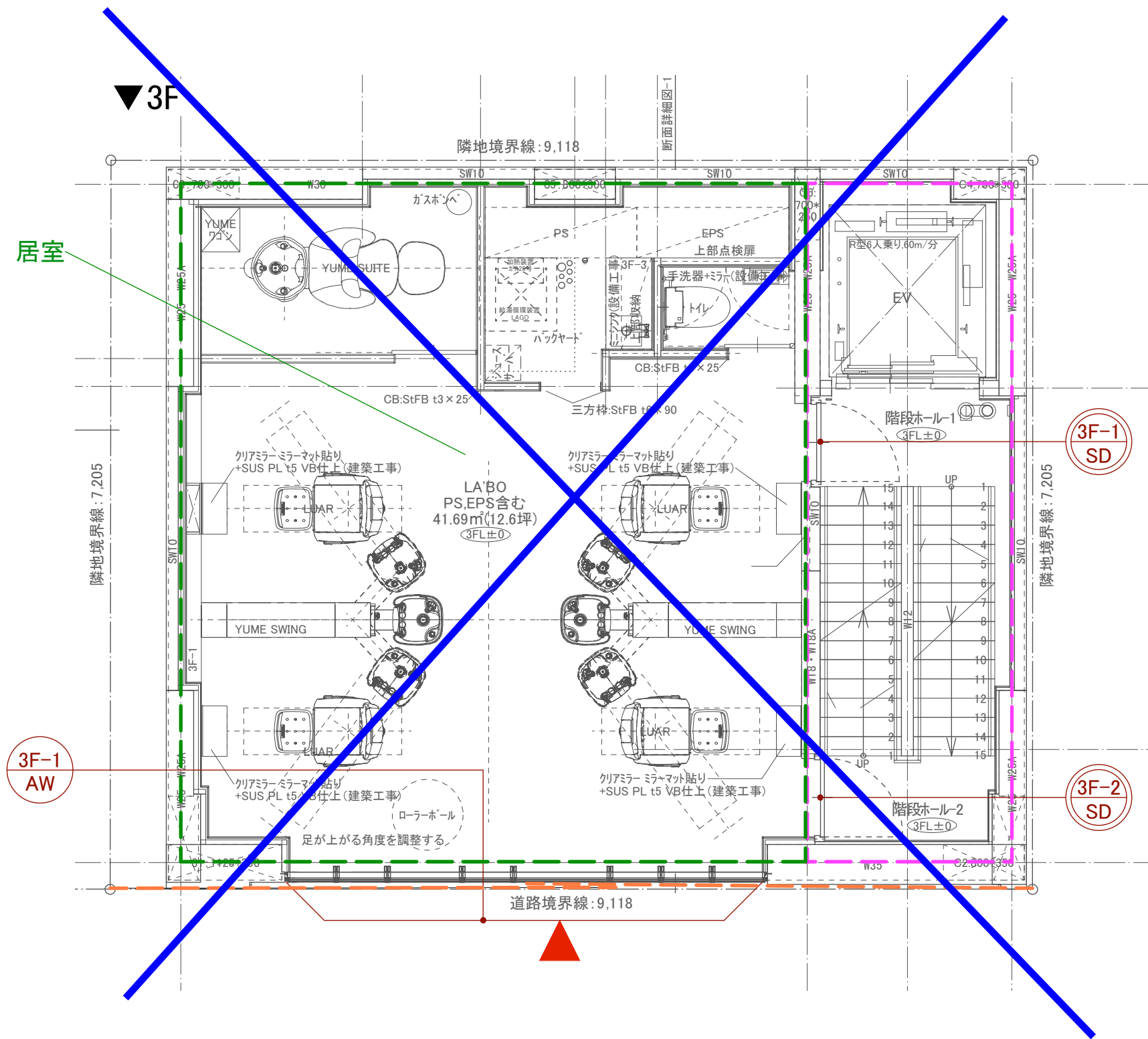
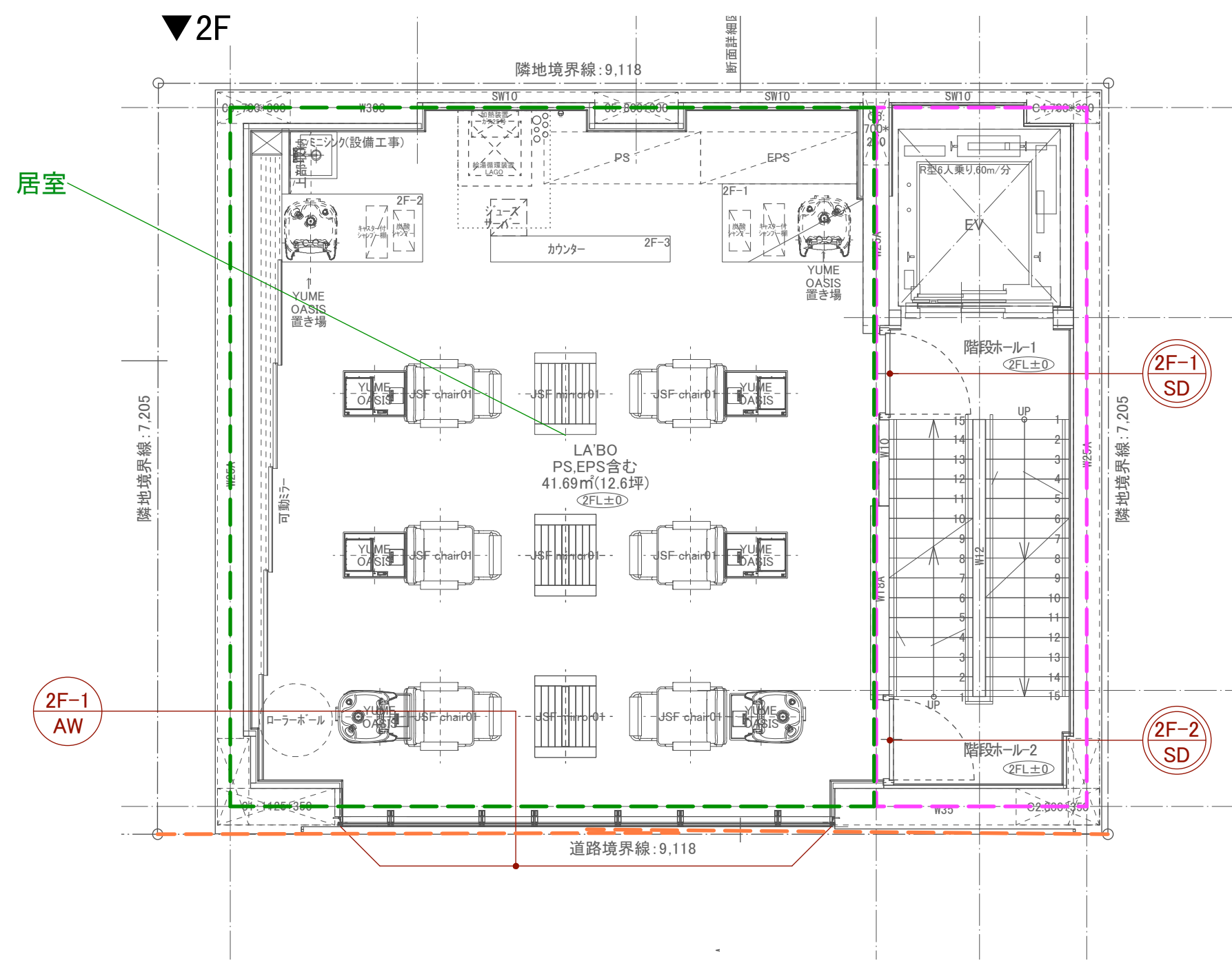
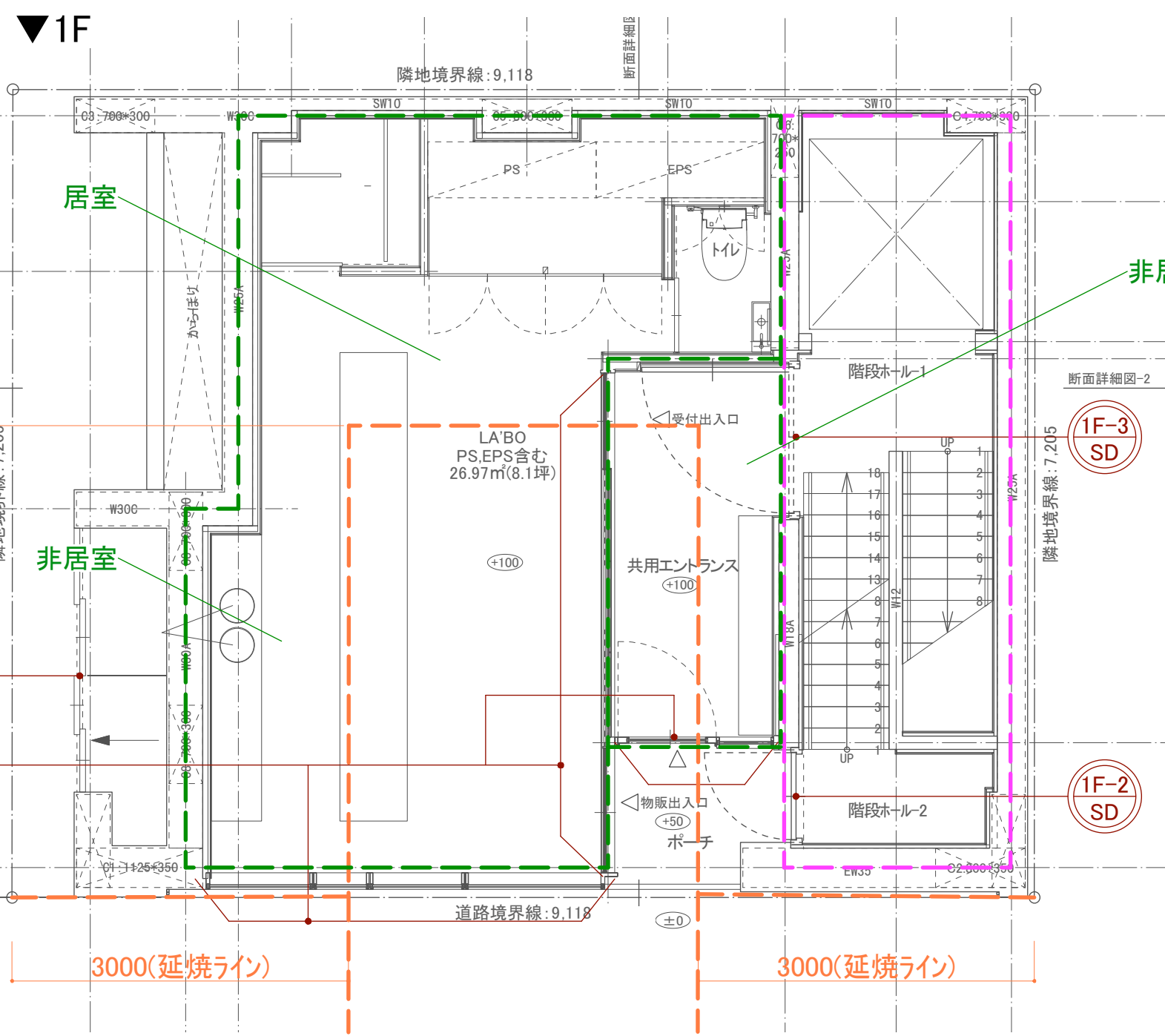
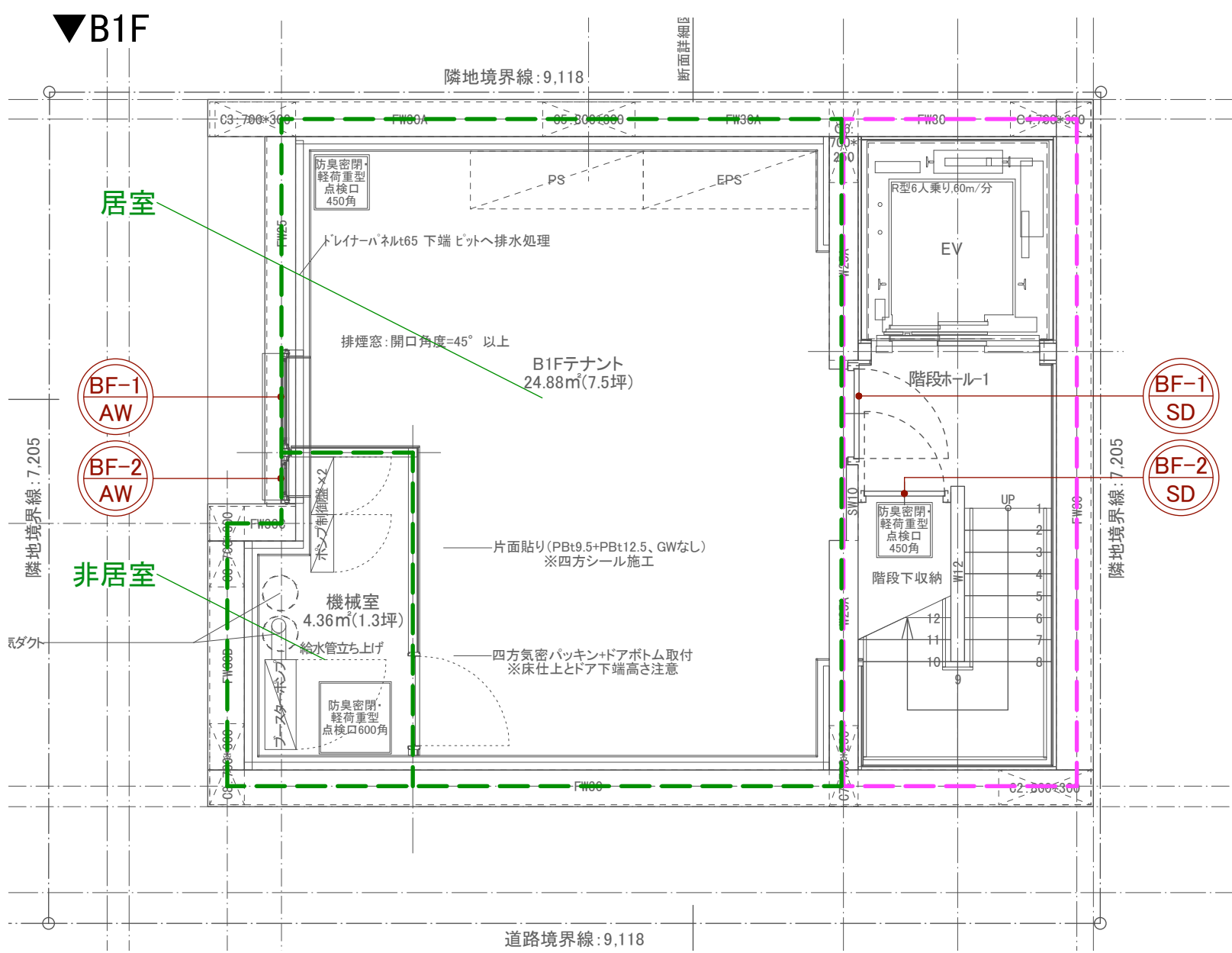


▼1F



▼9F

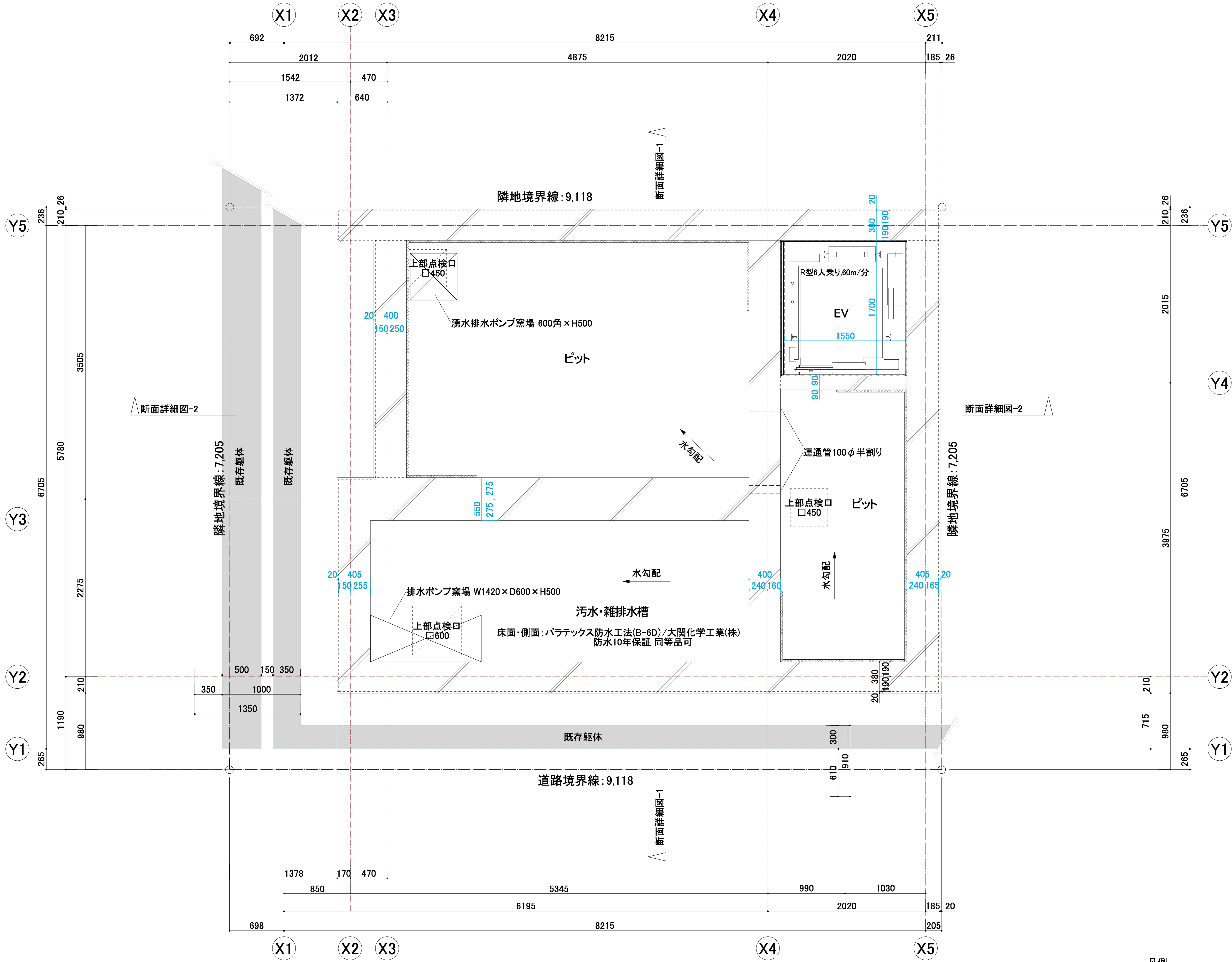




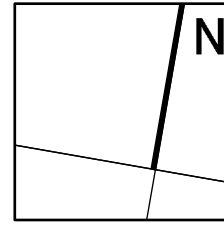
凡例

	階 建具番号 建具種類	非防火設備
	階 建具番号 建具種類	防火設備
	延焼ライン	1F:3.0m 2F以上:5.0m
	縦穴区画ライン: 軽量壁 耐火構造認定番号 FP060NP-0175	
	排煙設備設置免除区画ライン(特記なき下記告示とする): ・1F~8Fの非居室: 建築基準法告示第1436号-4-二(1) ・1F~8Fの居室: 建築基準法告示第1436号-4-二(3)	
	代替進入口	

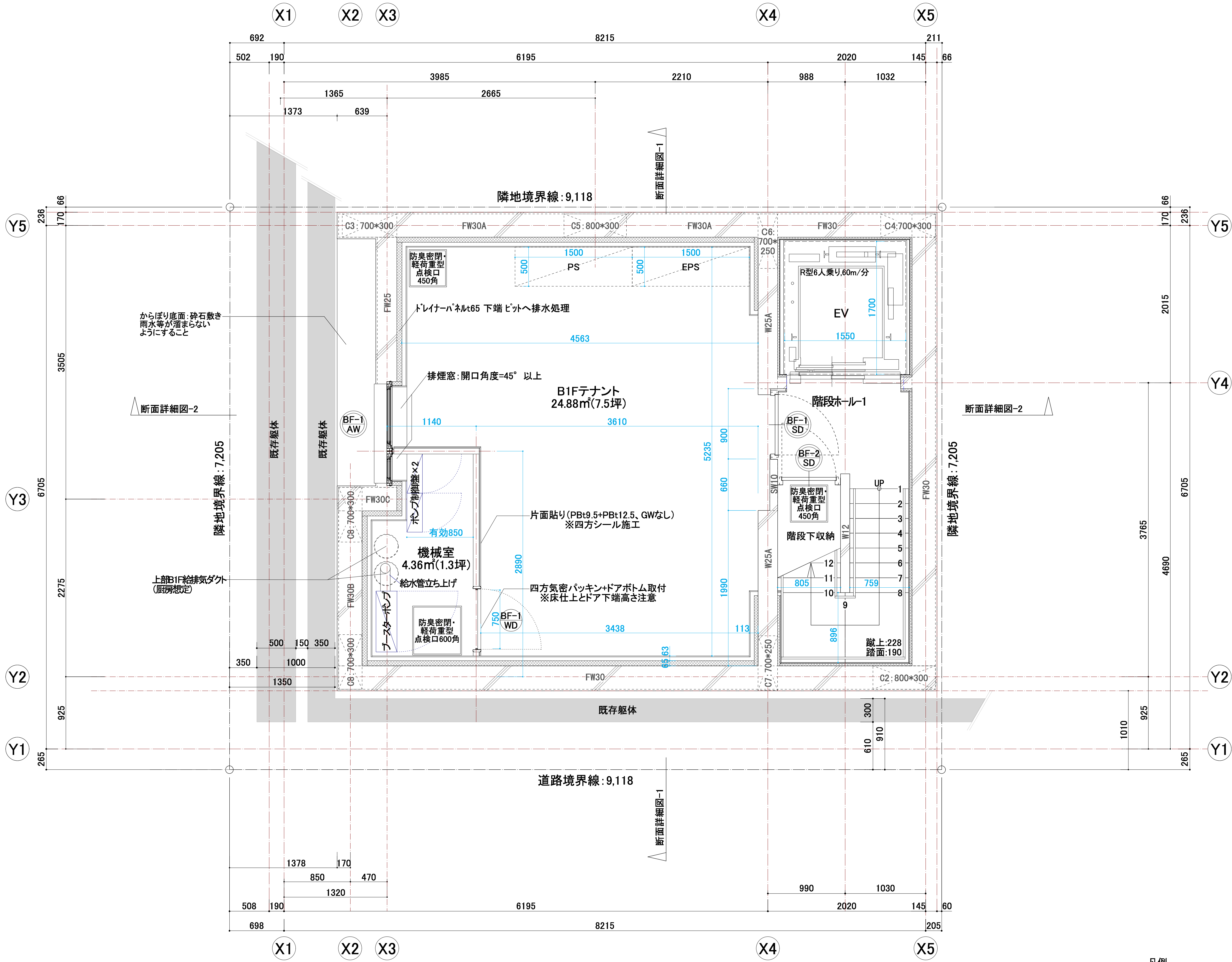
共通事項
・PS、EPS、DSは、水平区画とする



- 凡例
- ・CB: StFB t3×25×L1500 黒皮のままクリア塗装
 - ・StFB・StPL等の鋼材はすべて黒皮のままクリア塗装
 - ・青で示している美容室機器は別途オーナー支給とする



PIT



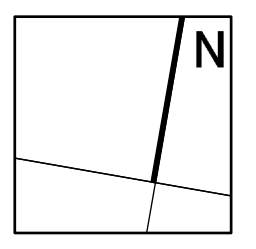
凡例

- ・CB: StFB t3×25×L1500 黒皮のままクリア塗装
- ・StFB・StPL等の鋼材はすべて黒皮のままクリア塗装
- ・青で示している美容室機器は別途オーナー支給とする

B1F



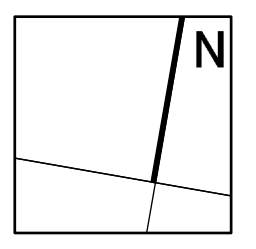
- 凡例
- ・CB: StFB t3×25×L1500 黒皮のままクリア塗装
 - ・StFB・StPL等の鋼材はすべて黒皮のままクリア塗装
 - ・青で示している美容室機器は別途オーナー支給とする



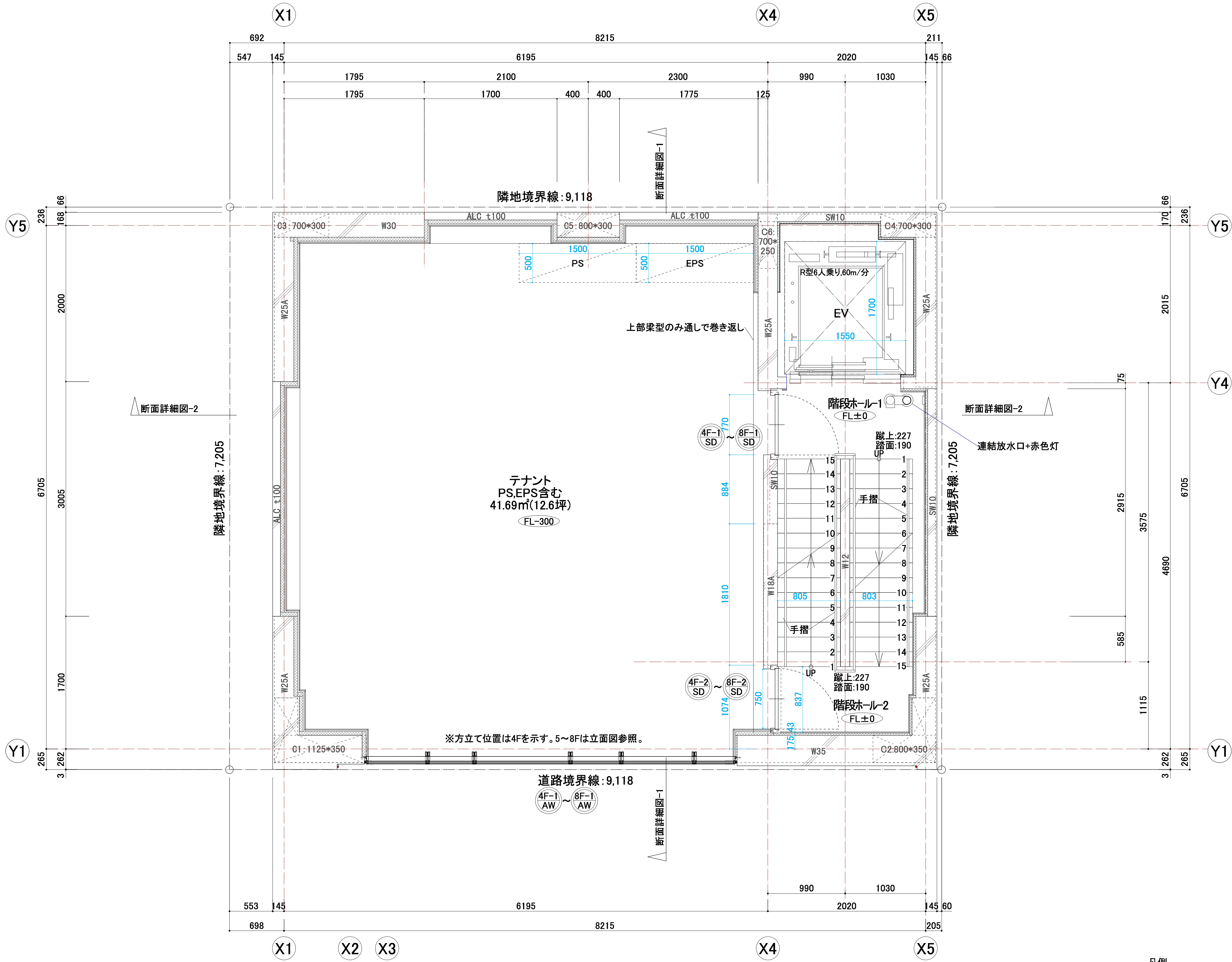
1F



- 凡例
- ・CB: StFB t3×25×L1500 黒皮のままクリア塗装
 - ・StFB・StPL等の鋼材はすべて黒皮のままクリア塗装
 - ・青で示している美容室機器は別途オーナー支給とする



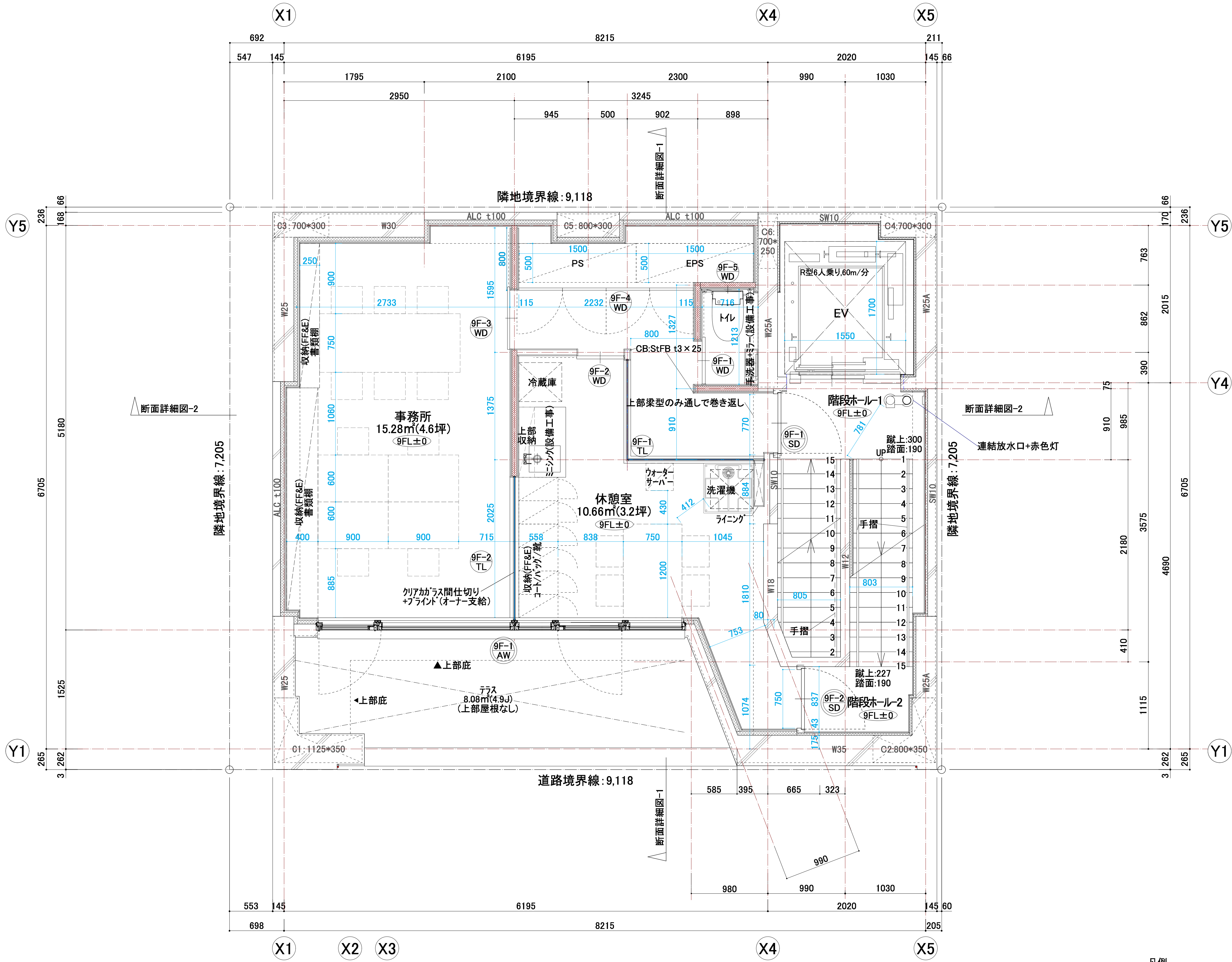
2F



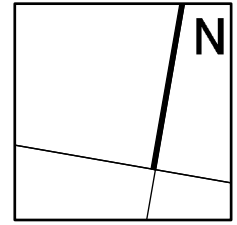
凡例

- ・CB: StFB t3×25×L1500 黒皮のままクリア塗装
- ・StFB・StPL等の鋼材はすべて黒皮のままクリア塗装
- ・青で示している美容室機器は別途オーナー支給とする

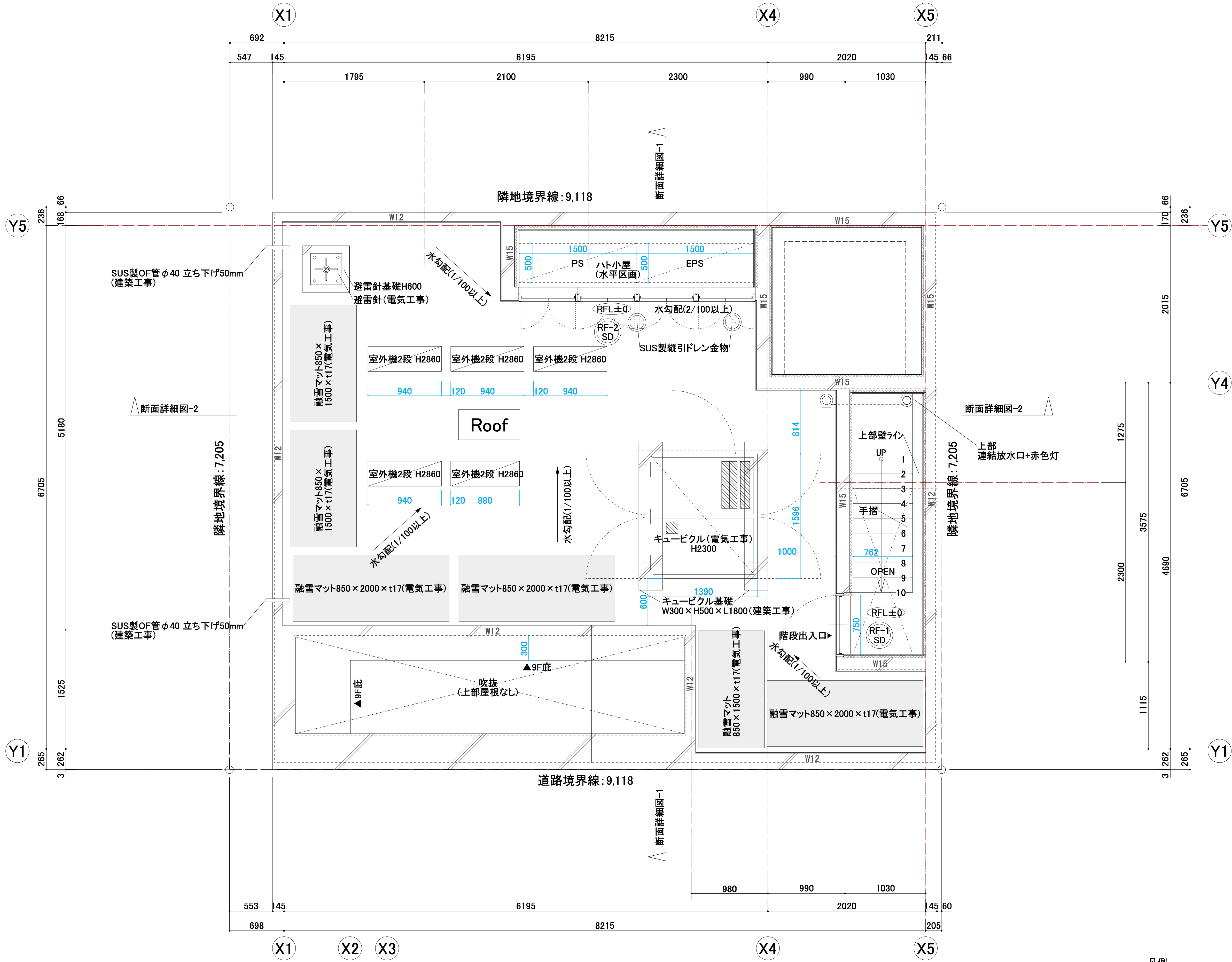
3~ 8F



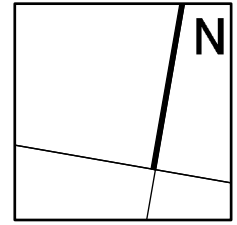
- 凡例
- ・CB: StFB t3×25×L1500 黒皮のままクリア塗装
 - ・StFB・StPL等の鋼材はすべて黒皮のままクリア塗装
 - ・青で示している美容室機器は別途オーナー支給とする



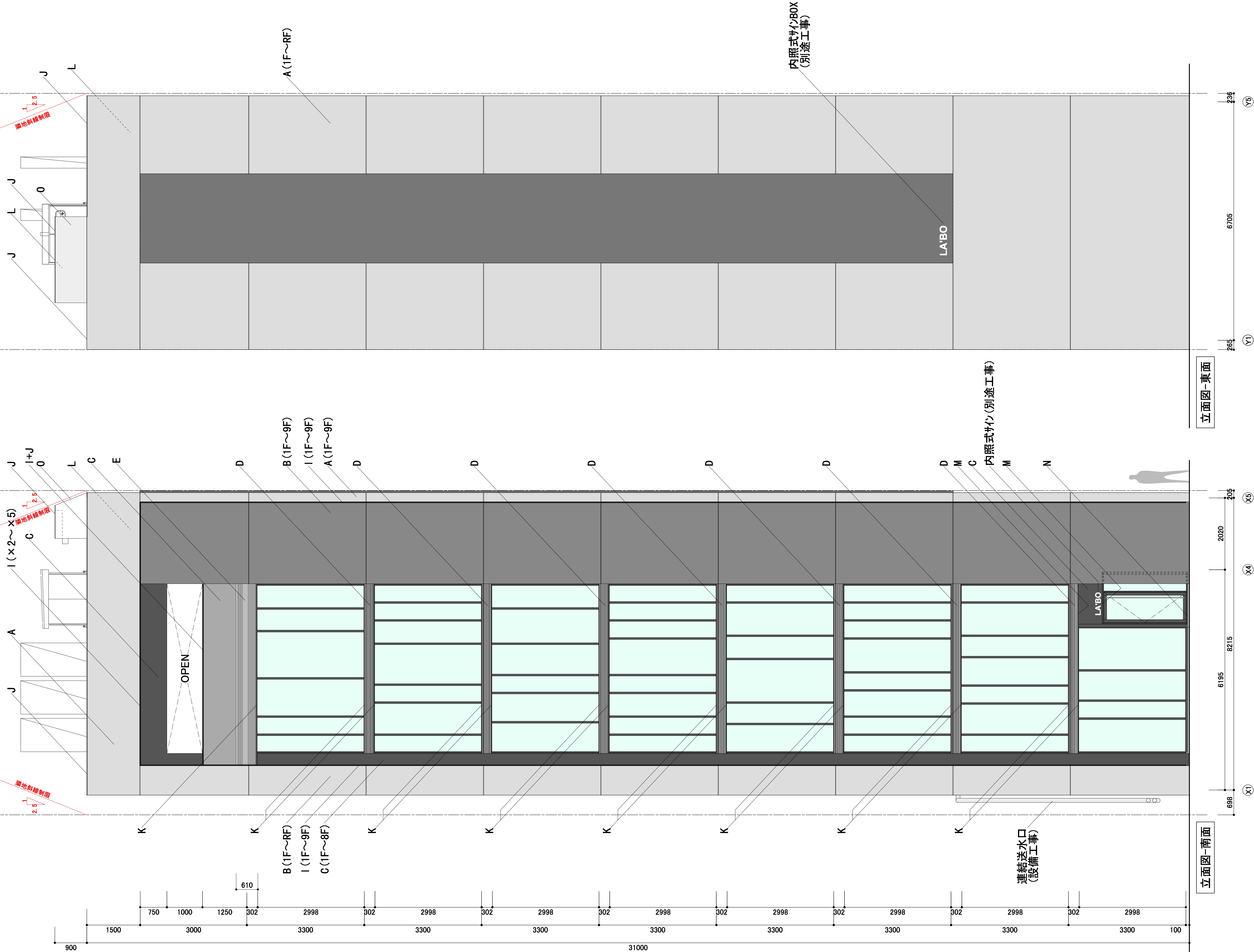
9F



- 凡例
- ・CB: StFB t3×25×L1500 黒皮のままクリア塗装
 - ・StFB・StPL等の鋼材はすべて黒皮のままクリア塗装
 - ・青で示している美容室機器は別途オーナー支給とする



RF



■凡例

【増し窓87】バネト型枠コンクリート打ち放しの上、ラテックス・NBS防水工法・全面の鉄工法・大日技術工業(株)・防汚材・親水型耐電反撥 材7・Nコート 一層トゲ付ゲル・チ/ルジ - (株)

A-外壁: 【増し窓40】バネト型枠コンクリート打ち放しの上、ラテックス・NBS防水工法・全面の鉄工法・大日技術工業(株)・防汚材・親水型耐電反撥 材7・Nコート 一層トゲ付ゲル・チ/ルジ - (株)

B-外壁: 【増し窓20】バネト型枠コンクリート打ち放しの上、ラテックス・NBS防水工法・全面の鉄工法・大日技術工業(株)・防汚材・親水型耐電反撥 材7・Nコート 一層トゲ付ゲル・チ/ルジ - (株)

C-外壁: 【増し窓20】バネト型枠コンクリート打ち放しの上、ラテックス・NBS防水工法・全面の鉄工法・大日技術工業(株)・防汚材・親水型耐電反撥 材7・Nコート 一層トゲ付ゲル・チ/ルジ - (株)

D-外壁: 【増し窓なし】バネト型枠コンクリート打ち放しの上、ラテックス・NBS防水工法・全面の鉄工法・大日技術工業(株)・防汚材・親水型耐電反撥 材7・Nコート 一層トゲ付ゲル・チ/ルジ - (株)

E-外壁: 【増し窓なし】バネト型枠コンクリート打ち放しの上、ラテックス・NBS防水工法・全面の鉄工法・大日技術工業(株)・防汚材・親水型耐電反撥 材7・Nコート 一層トゲ付ゲル・チ/ルジ - (株)

F-外壁: 【増し窓20】合板型枠コンクリート打ち放しの上、ラテックス・NBS防水工法・全面の鉄工法・大日技術工業(株)・防汚材・親水型耐電反撥 材7・Nコート 一層トゲ付ゲル・チ/ルジ - (株)

G-外壁: 【増し窓20】合板型枠コンクリート打ち放しの上、ラテックス・NBS防水工法・全面の鉄工法・大日技術工業(株)・防汚材・親水型耐電反撥 材7・Nコート 一層トゲ付ゲル・チ/ルジ - (株)

H-外壁: 【増し窓20】合板型枠コンクリート打ち放しの上、ラテックス・NBS防水工法・全面の鉄工法・大日技術工業(株)・防汚材・親水型耐電反撥 材7・Nコート 一層トゲ付ゲル・チ/ルジ - (株)

I-外壁: 【増し窓20】合板型枠コンクリート打ち放しの上、ラテックス・NBS防水工法・全面の鉄工法・大日技術工業(株)・防汚材・親水型耐電反撥 材7・Nコート 一層トゲ付ゲル・チ/ルジ - (株)

J-外壁: 【増し窓20】合板型枠コンクリート打ち放しの上、ラテックス・NBS防水工法・全面の鉄工法・大日技術工業(株)・防汚材・親水型耐電反撥 材7・Nコート 一層トゲ付ゲル・チ/ルジ - (株)

K-外壁: 【増し窓20】合板型枠コンクリート打ち放しの上、ラテックス・NBS防水工法・全面の鉄工法・大日技術工業(株)・防汚材・親水型耐電反撥 材7・Nコート 一層トゲ付ゲル・チ/ルジ - (株)

L-外壁: 【増し窓20】合板型枠コンクリート打ち放しの上、ラテックス・NBS防水工法・全面の鉄工法・大日技術工業(株)・防汚材・親水型耐電反撥 材7・Nコート 一層トゲ付ゲル・チ/ルジ - (株)

M-外壁: 【増し窓20】合板型枠コンクリート打ち放しの上、ラテックス・NBS防水工法・全面の鉄工法・大日技術工業(株)・防汚材・親水型耐電反撥 材7・Nコート 一層トゲ付ゲル・チ/ルジ - (株)

N-外壁: 【増し窓20】合板型枠コンクリート打ち放しの上、ラテックス・NBS防水工法・全面の鉄工法・大日技術工業(株)・防汚材・親水型耐電反撥 材7・Nコート 一層トゲ付ゲル・チ/ルジ - (株)

O-外壁: 【増し窓20】合板型枠コンクリート打ち放しの上、ラテックス・NBS防水工法・全面の鉄工法・大日技術工業(株)・防汚材・親水型耐電反撥 材7・Nコート 一層トゲ付ゲル・チ/ルジ - (株)

■共通事項

- ・サッシ及びパンドルの上下は全て水切取付
- ・異種金属取付部は絶縁すること
- ・構造材: W300 完全リフレクト製品で、耐火、防火、遮音性能を有するものとする。
- ・詳細・位置は構造図参照
- ・打撃目地(水切) W150D15
- ・伸縮目地(垂面) なし
- ・上記目地及びパンドルのシール: 変成シリコン系成分系 指定色
- ・CF管 (屋根西面之箇所) : オート管 SUS 丸パイプ 40φ FL-300 下掛け

*立面図は工事中の検討に伴って変更する場合があります

